

# CBC NEWS LETTER

Vol.11, No.2, Nov.2010

国立大学法人  
小樽商科大学ビジネス創造センター



ニュースレター [Vol.11, No.2]

## I N D E X

1. 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2010」 出展
2. シンポジウム「人間中心（住民中心）から行政事業を考える」 共催
3. 「第6回三大学・地域共同研究センター定期情報交換会」 開催
4. 「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ2010)中間報告会」 開催
5. これからのおもな予定
6. 主要日誌

## 1

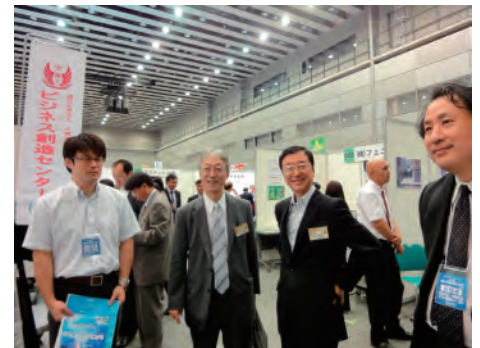
### 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2010」出展

ビジネス創造センター(CBC)は、8月20日(金)に札幌コンベンションセンターにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2010」に出展しました。昨年に引き続き3回目の出展です。

このフェアは、優れた技術や製品を有する中小企業、大学、支援機関等が参加し、北海道のものづくり産業の振興のため、販路拡大、企業間連携の促進、情報交換、技術交流を行うものです。今回は約300の企業・大学等が出展しました。

CBCは、「環境経営」をテーマとして「環境・エネルギー」コーナーに出展。CBC研究部スタッフ・加賀田和弘商学科准教授の研究「環境経営への取り組みと経営戦略・事業戦略および競争優位に関する研究報告」をパネルによって紹介しました。

会場では、加賀田准教授はじめCBCスタッフが来場者からの質問に答えるなど対応をしました。



左より加賀田准教授、山本学長、海老名センター長、澤田専任教授



CBCブース

## 2

### シンポジウム「人間中心（住民中心）から行政事業を考える」共催

ビジネス創造センター(CBC)では、6月20日(日)に、「人間中心(住民中心)から行政事業を考える」と題したシンポジウムを、日本人間工学会 情報社会人間工学部会との共催にて開催しました(於:小樽商科大学札幌サテライト)。本シンポジウムは、日本人間工学会情報社会人間工学部会の1999年からの取り組みによるものです。行政事業における人間中心アプローチについて、行政の様々な現場で日頃活躍されている講師の方々をお招きし、ご講演いただくとともに、会場も交えたパネルディスカッションを実施したものです。学内外から約20名の方々にご参加いただき、活発な討議が行われました。講演者は次の通りです。

2

- 金田博恵氏(札幌市観光文化局 観光コンベンション部観光企画課計画担当係長)
- 高野伸栄氏(北海道大学大学院工学研究科 准教授)
- 前原功治氏(北海道ニセコ町役場商工観光課観光戦略推進係係長)
- 平沢尚毅 (日本人間工学会 情報社会人間工学部会長,  
小樽商科大学 社会情報学科 教授, ビジネス創造センター UX研究部門長)

なお、本シンポジウムは、特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構のご後援をいただいて開催いたしました。

ご協力くださった講師、会場のみなさまに御礼申し上げます。

(ビジネス創造センター UX研究部門 山田菊子)



金田博恵氏



高野伸栄氏



前原功治氏



パネルディスカッションの様子

3

## 「第6回三大学・地域共同研究センター定期情報交換会」開催

本学ビジネス創造センター(CBC)、福島大学地域創造支援センター、滋賀大学産業共同研究センター及び地域連携センターの三大学の地域共同研究センターのセンター長及び関係者が集まり、9月27日(月)～28日(火)に滋賀大学大津サテライトプラザで「第6回三大学・地域共同研究センター定期情報交換会」を開催しました。

CBCからは、海老名センター長、大津副センター長、澤田専任教授、蔵重係長の4名が出席しました。

第1期中期目標期間も終了し、国立大学法人の運営費交付金については毎年減少の一途をたどっており、来年度は一律10%カットもささやかれている中で、国立大学法人は教育・研究に続く第3の使命として地域貢献・社会貢献を果たすことが求められているところです。

今回は、このような状況を踏まえて、いかに有効かつ効率的にその使命を果たすことができるかを議題の1つとして取り挙げ、各センターから今後実施予定されている活動の報告がありました。





## 3

第2の議題として、今回で6回目となる三大学情報交換会を有効且つ効率的に今後も開催することが可能かを討議し、これまでの情報交換のスタイルでの開催は今回をもって使命を果たしたとして、今後はこの三大学の人材ネットワークを活かした連携事業の開催を検討することとしました。

続いて地元との連携事例「地元の視点から」と題して彦根商工会議所業務課長の安達昇氏から彦根市と滋賀大学との連携事業についての事例紹介がありました。



2日目の28日は、同志社大学を訪問し、三大学からの各大学の社会貢献の取り組み発表に続き、同志社大学から同大学における事業内容の発表がありました。引き続き質疑応答に入り、三大学から同志社大学の活動について種々質疑が行われました。今回の訪問で同志社大学(私立大学)における産学官連携事例について学ぶことができ、今後の地域貢献活動の一助とする知見が得られました。

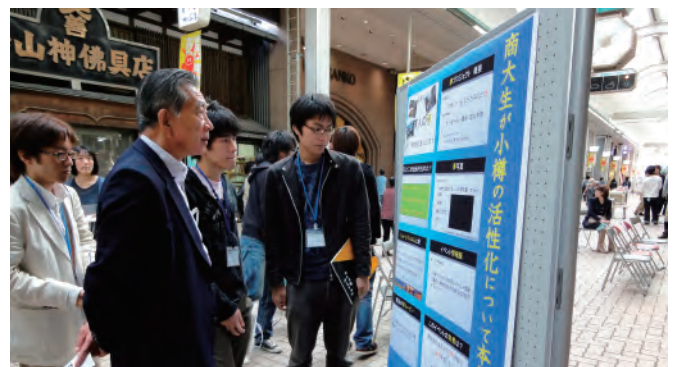
(写真提供: 滋賀大学)

## 4

## 「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ2010)中間報告会」開催

去る9月23日(木祝)に、サンモール一番街商店街および小樽築港マリノードにおきまして、ビジネス創造センターが活動を支援する「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ2010)」の中間発表会が開催されました。このプロジェクトは、本学の学生が小樽のさまざまな課題に対して、調査、分析、提案をする正課講義「地域連携キャリア開発」で実践されているもので、今年度は26人の受講学生と大津ゼミの3年生12人が、①小樽築港エリアの活性化策の提案、②中国・ロシアへの小樽PR戦略の立案、③中心市街地活性化イベントの実践、④歴史的建造物の利活用策の実践の4つの課題に各2チームずつ分かれて取り組んでいます。

昨年までのマジプロの発表会は市内のホールや会議室で行われていましたが、今年度は同プロジェクトに対する市民のみなさまの認知度を向上させることと、幅広い見地から寄せられた意見やコメントを後半のプロジェクトに生かしていくことをねらいとして、商店街やJR小樽築港駅近くのオープンスペースで実施することになりました。中間発表会は、全チームが取組内容をまとめた大判のポスターを一斉に掲示し、その前で参加者に説明するポスターセッション形式で行われ、同じ内容をサンモール一番街商店街から小樽築港マリノードに移動して、2回実施するという大がかりなものでした。各会場では、新聞報道や告知ポスターなどを見て会場までわざわざ足を運んでいただいた市民の方に加え、買い物途中で足を止めて学生の説明を聞いたり、学生の提案に対する質問や市民の目線の意見をいただいたりする姿も多く見られました。



サンモール市番街商店街



小樽築港マリノード

## 5

## これからのおもな予定

- ・2月23日(水) 平成22年度 CBCセミナー
- ・3月25日(金) 平成22年度 産学官連携研究成果報告会

## 6

## CBC主要日誌 (平成22年6月16日-22年10月31日)

CBC運営委員会	
6月20日(日)	日本人間工学会『情報社会人間工学部会』シンポジウム「人間中心(住民中心)から行政事業を考える」共催(於:札幌サテライト)
7月 8日(木)	第4回主任会議
8月20日(金)	北洋銀行ものづくりテクノフェア2010出展
8月27日(木) -28日(金)	第23回国立大学法人共同研究センター専任教員会議(於:佐賀県武雄市) (澤田教授, 木村情報資料部主任)
9月15日(水)	「人間中心設計」ワークショップシリーズ第5回「情報システムのサービス要求マネジメント」セミナー (於:札幌サテライト)
9月23日(木)	商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ2010)中間報告会 (於:サンモール一番街商店街・小樽築港マリロード)
9月26日(月) -27日(火)	第6回三大学地域共同研究センター定期情報交換会(於:滋賀大学)(海老名センター長, 大津副センター長, 澤田教授, 蔵重係長)
10月 8日(金)	第5回主任会議
10月13日(水)	運営会議(持ち回り) 審議事項: 1. 情報資料部主任の人事について 2. 第1・2四半期の予算執行状況と第3・4四半期の執行計画について
10月14日(木) -15日(金)	第22回国立大学法人共同研究センター長等会議(於:山口県宇部市) (海老名センター長, 澤田教授, 蔵重係長)
10月26日(水)	運営会議(持ち回り) 審議事項: 1. 平成22年度年度計画の進捗状況の中間報告について

## 投稿案内

ニューズレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿, 問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが, 投稿原稿の採否, 掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

- 投稿先  
小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部  
Eメール: [cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp)

国立大学法人  
小樽商科大学ビジネス創造センター(CBC)  
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号  
事務室 TEL 0134-27-5290  
FAX 0134-27-5293  
Eメール [cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp](mailto:cbcjimu@office.otaru-uc.ac.jp)  
ホームページ  
<http://office.cbc-s.otaru-uc.ac.jp/>